Gakken

決算説明資料

2026年9月期

2026.11.13

株式会社学研ホールディングス　証券コード 9470

Gakken

人の可能性を
どこまでも追求する会社へ

Growth	人と社会の持続的な成長に貢献しよう
Action	新しいきっかけを生み出す行動を起こそう
Knowledge	誰よりも学び、率先して知識を還元しよう
Kindness	お客様や、共に働く仲間に優しさと思いやりを示そう
Enjoy	誰かを楽しませるためには、まず自分が楽しもう
New Stage	ボーダレスに思考し、活躍の場を世界に拡げよう

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

INDEX

01
2026年9月期
決算概要
P.04

02
教育分野
業績
P.10

03
医療福祉分野
業績
P.15

04
Gakken2027
進捗
P.17

05
決算補足資料
P.27

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

01 2026年9月期 決算概要

2026年9月期 決算　エグゼクティブサマリー

トップライン伸長と本業増益・営業外損益改善を両立、堅調な成長を維持

（単位未満は切捨て）

売上高	EBITDA※1	営業利益	経常利益	当期純利益※2
2,103億円	131.8億円	83.1億円	79.8億円	34.5億円
前年同期比　+5.7%	前年同期比　+1.6%	前年同期比　+1.0%	前年同期比　+2.2%	前年同期比　-3.5%

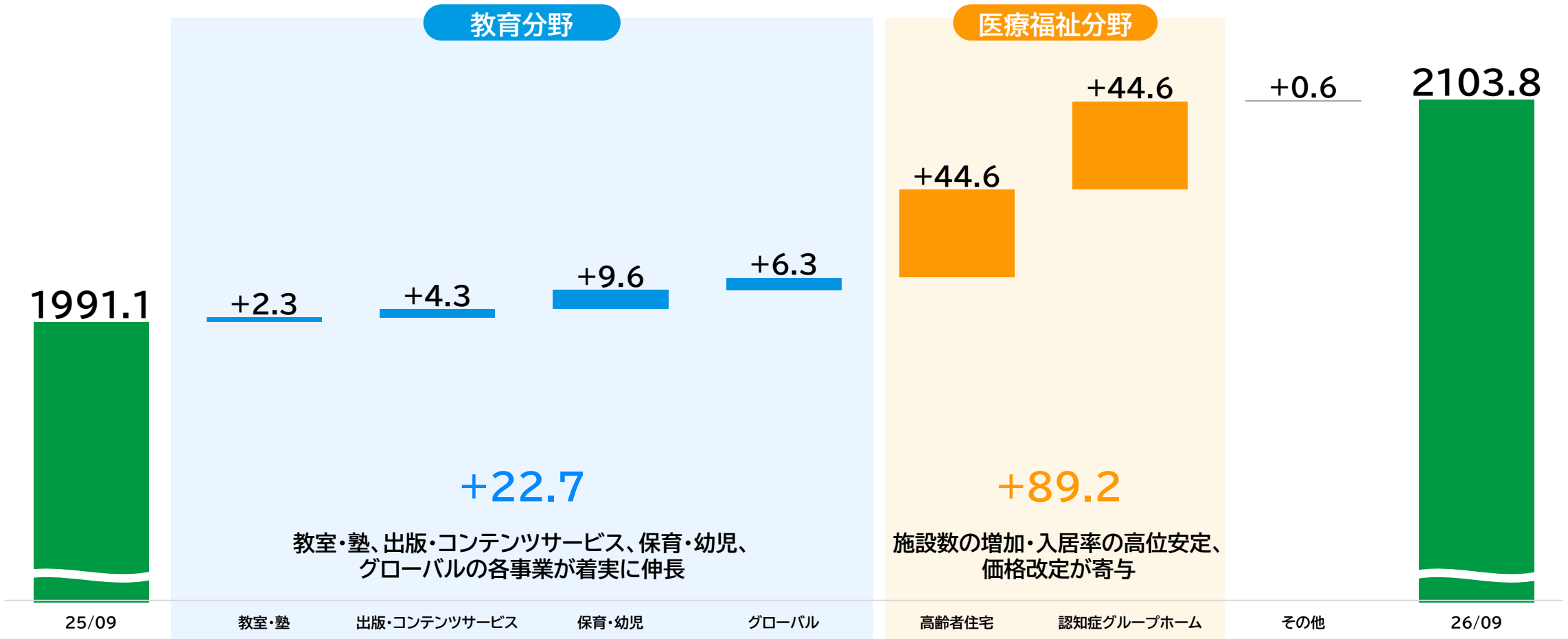
連結売上高	連結売上高は、医療福祉分野における施設数増加と高水準の入居率維持に加え、教育分野の各事業も着実に伸長し、前年同期比5.7%増
EBITDA※1	EBITDAは、教育分野がグローバル事業の減少影響を他事業の堅調な推移で一部吸収し小幅減少にとどまったほか、医療福祉分野の増加も寄与し、前年同期比1.6%増
営業利益	営業利益は、教育分野がグローバル事業の減益影響を他事業の堅調な推移で一部吸収し小幅減益にとどまったほか、医療福祉分野の増益も寄与し、前年同期比1.0%増
経常利益	営業利益の増益影響と営業外損益の改善により、経常利益は前年同期比2.2%増
当期純利益※2	前期に計上した投資有価証券売却益の反動減および減損損失の増加等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比3.5%減

※1　営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算。 ※2　親会社株主に帰属する当期純利益。

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

売上高 増減分析

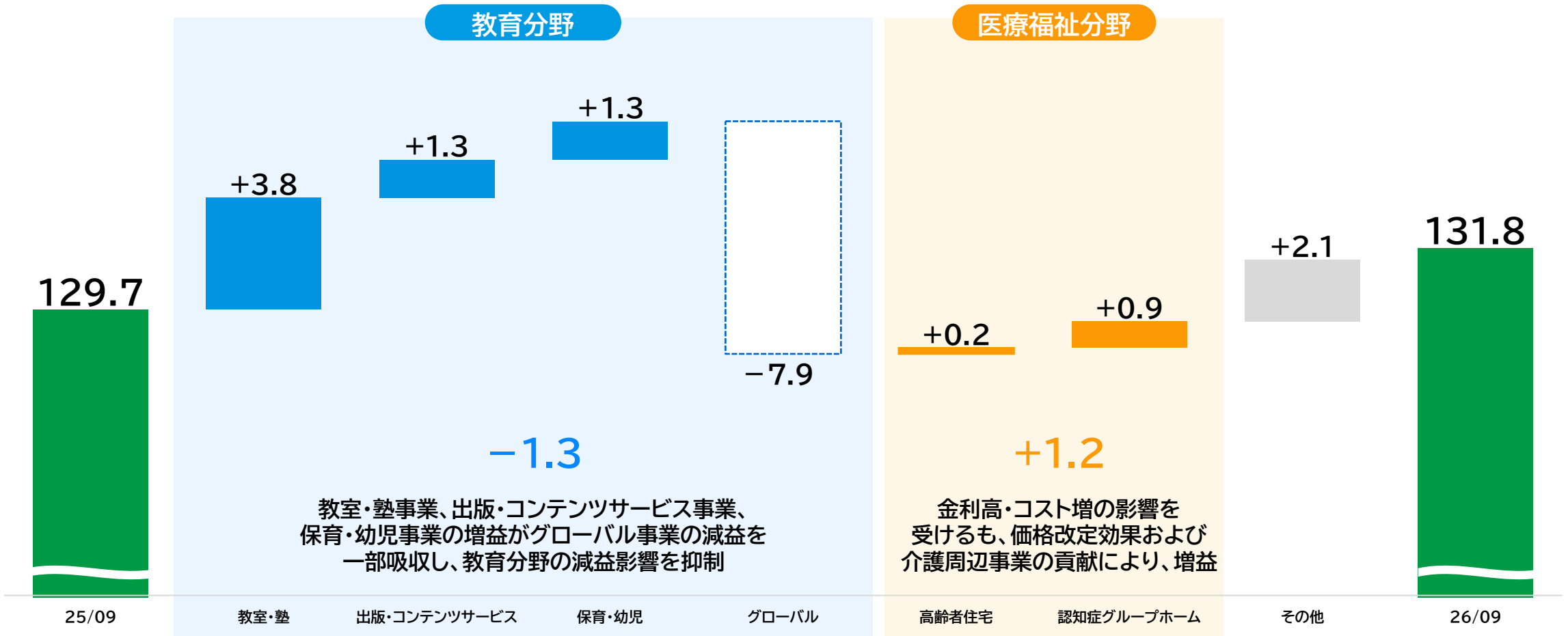
（単位：億円）
（単位未満は切捨て）



Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

EBITDA 増減分析

（単位：億円）
（単位未満は切捨て）



Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

2026年9月期 セグメント別業績(前年対比)

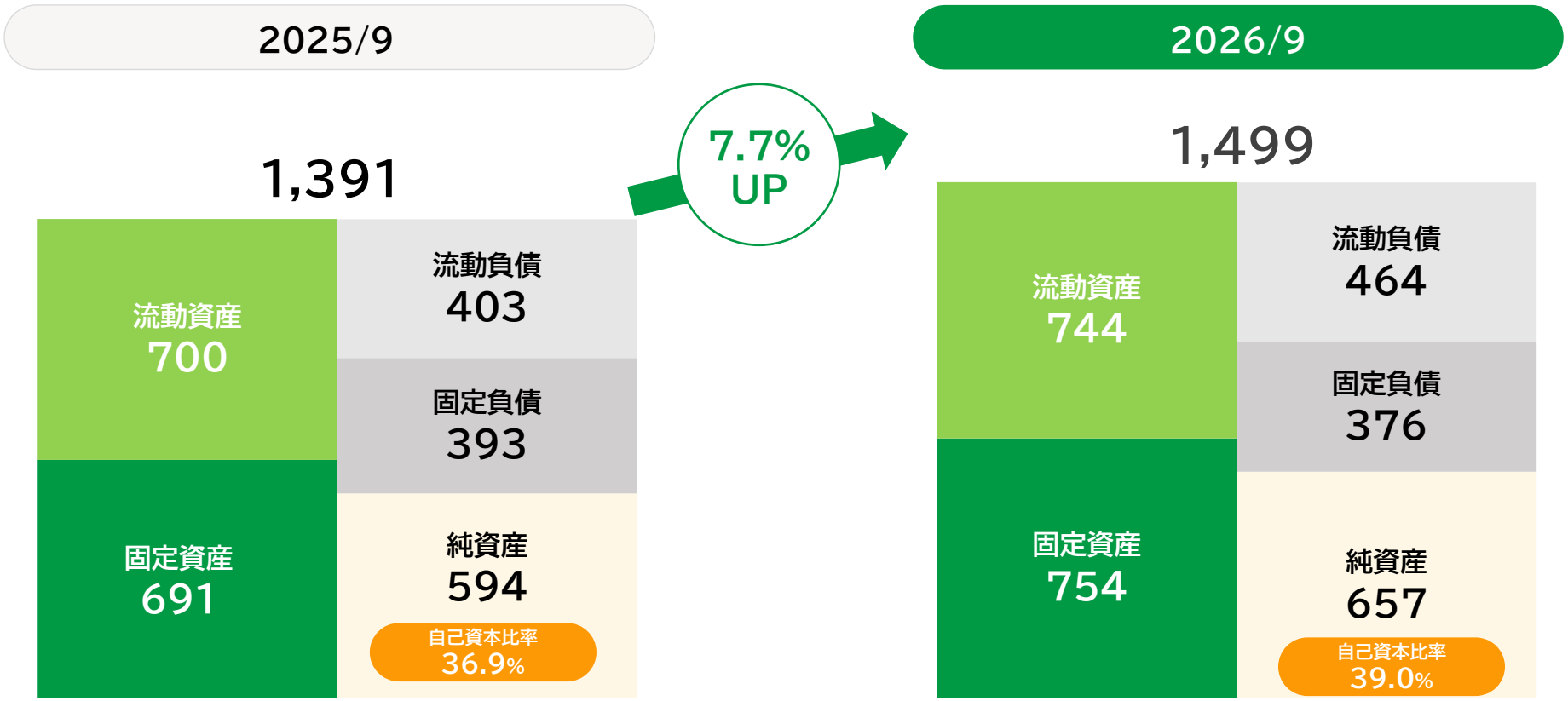
(単位:億円) (単位未満は切捨て)	2025年9月期(実績)			2026年9月期(実績)			増減(前年対比)		
	売上高	EBITDA	営業利益	売上高	EBITDA	営業利益	売上高	EBITDA	営業利益
教育分野	1,088	89	60	1,110	87	57	+22	−1	−3
教室・塾	534	36	19	536	40	25	+2	+3	+6
出版・コンテンツサービス	337	34	29	342	36	30	+4	+1	+0
保育・幼児	162	3	2	172	4	3	+9	+1	+1
グローバル	53	14	9	59	6	−2	+6	−7	−11
医療福祉分野	869	56	40	959	58	43	+89	+1	+2
高齢者住宅	465	30	22	510	30	24	+44	+0	+1
認知症グループホーム	403	26	18	448	27	18	+44	+0	+0
その他	33	−16	−19	33	−14	−17	+0	+2	+1
グループ合計	1,991	129	82	2,103	131	83	+112	+2	+0

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

連結財政状態

売上拡大に伴う売掛金・棚卸資産の増加やのれんの増加等により総資産は7.7%増加し、自己資本比率は39.0%に上昇

（単位：億円）（単位未満は切捨て）



Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

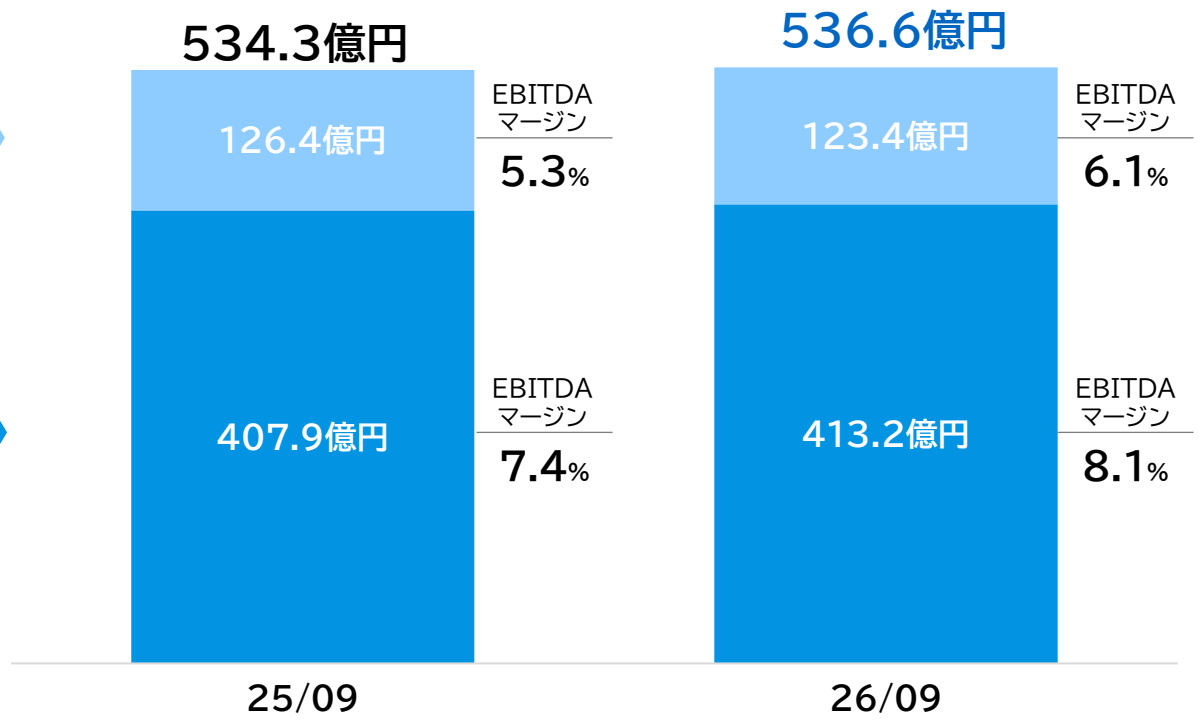
02 教育分野 業績

幅広く子どもたちの学習を支援する4事業を展開。
社会人向けのサービスも拡充しています。

教室・塾事業	日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
出版・コンテンツサービス事業	児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等の制作・販売
保育・幼児事業	保育園、こども園、学童施設等の運営と幼保園等への物販
グローバル事業	グループ海外事業の推進やODA事業の企画・受託・実施

教室・塾事業※ 業績サマリー

売上高合計



（単位未満は切捨て）

	25/09	26/09
EBITDA	36.8億円	40.7億円
EBITDAマージン	6.9%	7.6%

※塾事業は市進ホールディングスの2026年2月期第3～4四半期（25/9～26/2月）と2027年2月期第1～2四半期（26/3～8月）の業績を取り込んでいます。

ポジティブ要素

教室事業
- 前期に実施した価格改定の寄与
- 併習率向上による顧客単価の上昇

塾事業
- 生徒数の増加
- 公教育受託事業および大学教育支援事業の拡大

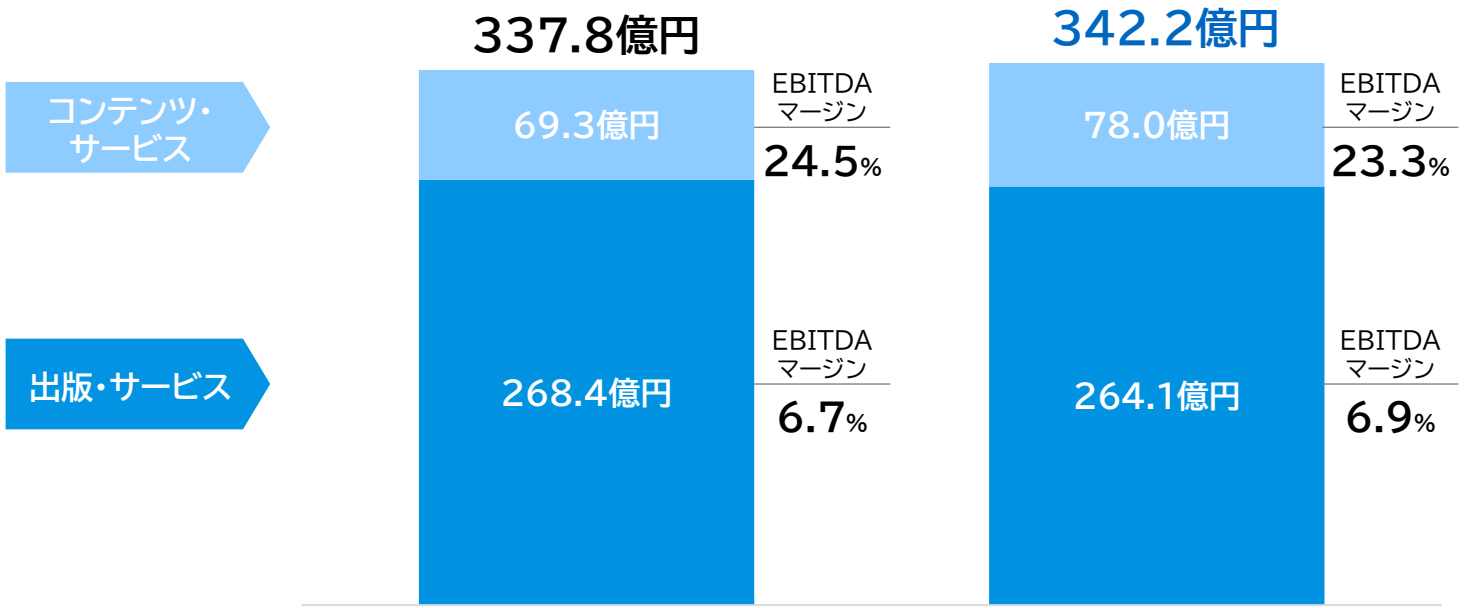
ネガティブ要素

- 少子化の影響で商圏の競争が強まり会員・生徒募集は引き続き課題
- 備品・水光熱費・人件費等のコスト増加

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

出版・コンテンツサービス事業 業績サマリー

売上高合計



（単位未満は切捨て）	25/09	26/09
EBITDA	34.8億円	36.2億円
EBITDAマージン	10.3%	10.6%

ポジティブ要素

- 新刊を中心とした価格見直し効果、高校学参・語学書などの利益率の高い学習参考書の好調と返品率改善の継続
- 看護師eラーニング事業における契約病院数の増加
- オンライン英会話事業における海外展開の開始

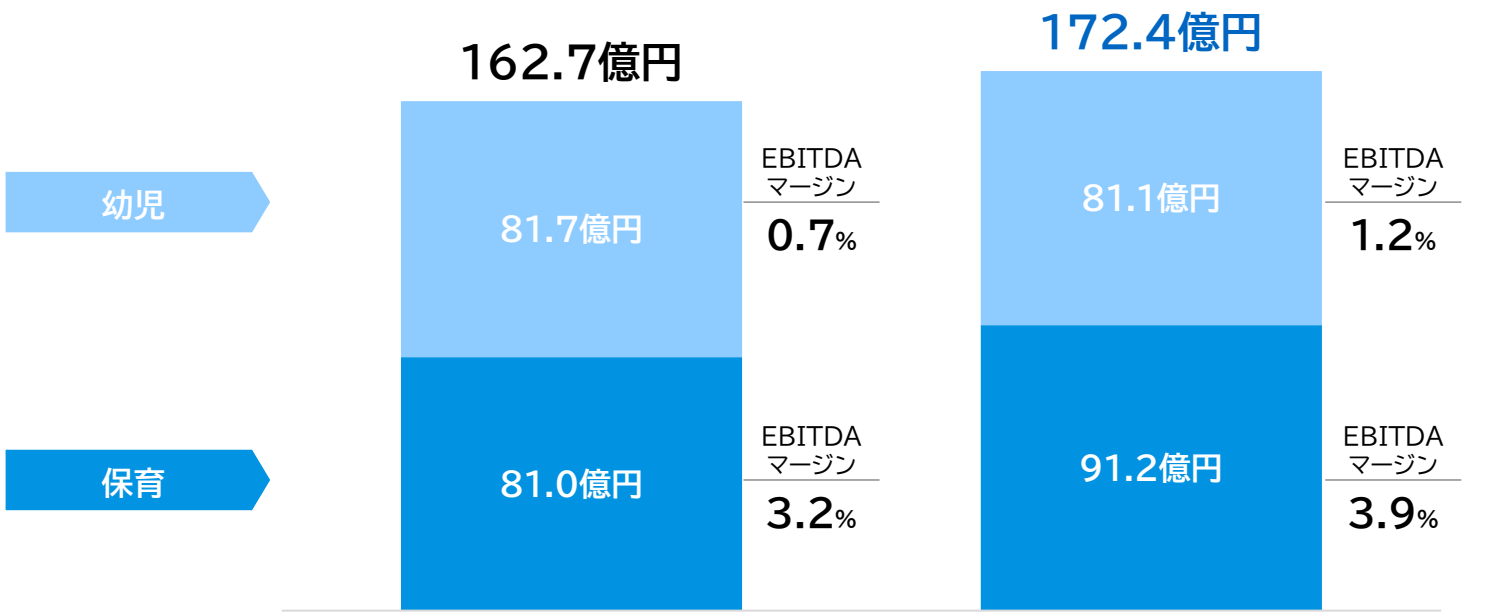
ネガティブ要素

- 出版事業における製造・物流費、およびオンライン英会話事業における顧客獲得費用（CPA）等のコスト増加
- 教科書採択の端境期に伴う教師用指導書の売上減
- オンライン英会話事業におけるAI開発および海外展開に向けた投資の増加

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

保育・幼児事業 業績サマリー

売上高合計



（単位未満は切捨て）

	25/09	26/09
EBITDA	3.1億円	4.4億円
EBITDAマージン	1.9%	2.6%

ポジティブ要素

- 保育園における充足率の高水準での安定
- 公設学童事業の受託規模拡大
- 幼児事業における園児誌・遊具・アパレル等の物販の堅調な推移

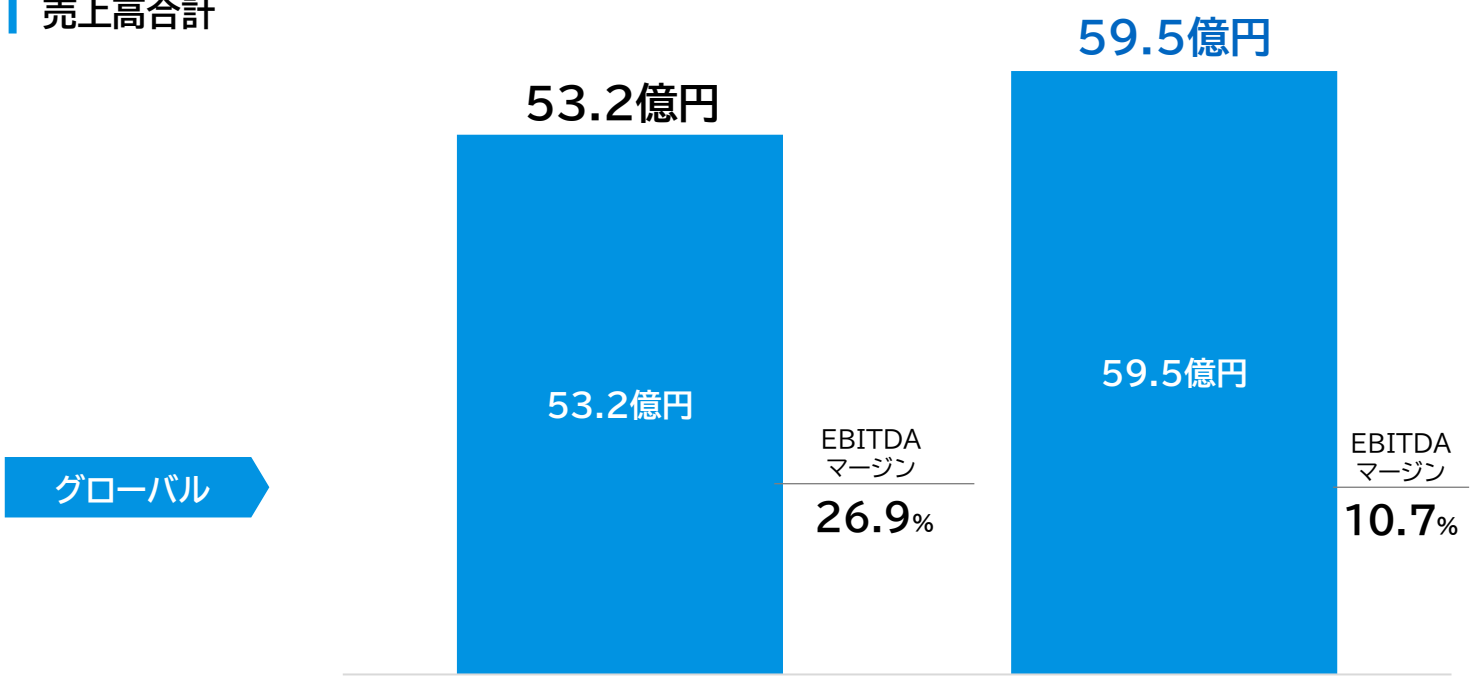
ネガティブ要素

- 食材費や電気・ガス代の高騰に伴うコスト増
- 少子化による園児数の減少
- 原材料価格の高騰や調達難航に伴う商品確保のリスク

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

グローバル事業 業績サマリー

売上高合計



（単位未満は切捨て）

	25/09	26/09
EBITDA	14.3億円	6.3億円
EBITDAマージン	26.9%	10.7%

ポジティブ要素

- ベトナムにおけるスクーリング事業の好調な推移
- ベトナム各省における統一教科書準拠ワークブックの承認進展および導入校の拡大

ネガティブ要素

- ベトナムにおける教科書採択制度の変更に伴う教科書販売事業の規模縮小
- 中国等の海外市場における法規制変更や通関差し止め等のリスク

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

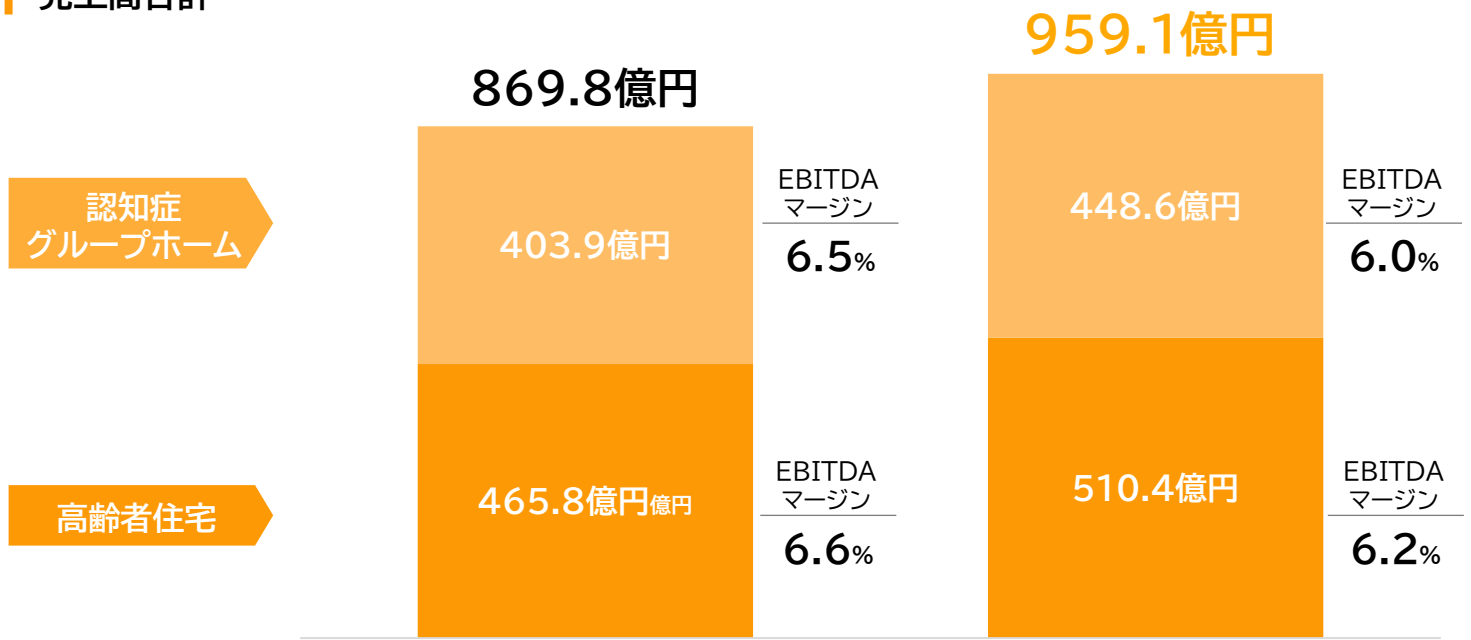
03 医療福祉分野 業績

2つの事業で高齢化が進む社会の課題に挑み、
安心して暮らせる街づくりを進めます。

高齢者住宅事業	サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
認知症グループホーム事業	グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営

医療福祉分野 業績サマリー

売上高合計



（単位未満は切捨て）

	25/09	26/09
EBITDA	56.9億円	58.1億円
EBITDAマージン	6.5%	6.1%

ポジティブ要素

- 拠点数の増加（対前年同期比）
  - →高齢者住宅　+13事業所
  - →認知症GH　+20事業所
- 入居率（新店含む）の高水準維持
  - →高齢者住宅　94.7%
  - →認知症GH　98.0%
- 価格改定効果の継続
- 在宅領域・介護周辺事業の拡大

ネガティブ要素

- 食材費・水光熱費等の物価高騰によるコスト増加
- 建築コスト高騰による新規開設のハードル上昇

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

04 Gakken2027 進捗

本中計の位置づけ

2024-2025

Gakken 2025 SHIFT

Gakken2023の積残し課題を解決し
新たなステージにはずみをつける

- 教育：重点領域の再強化と新規事業への挑戦
- 医療福祉：トップカンパニーに向けての医療福祉事業の深化とサステナビリティの追求

2026-2027

Gakken 2027 ValueUP 2026-2027

2030 Vision達成に向けた
事業・財務・組織の価値向上

- 教育：総合力で世界へ。教育の未来をリードする、Gakkenの挑戦
- 医療福祉：持続的成長と還元の実現。トップカンパニーとして地域社会の未来を創造

2028-2030

Gakken 2030 Aspiration

人の可能性をどこまでも
追求する会社へ

Copyright ©2025 Gakken Holdings Co., Ltd.

Gakken2027 進捗 エグゼクティブサマリー

（単位:億円）
（単位未満は切捨て）

	2026/9期 ： 実績			2027/9期 ： 新計画		
	計画	実績	差異	当初計画	新計画	方針
売上高	2,050	2,103	+53	2,150	2,250	+100
EBITDA	135	131	−4	145	145	—
EBITDA率	6.6%	6.2%		6.8%	6.4%	
営業利益	85	83	−2	95	95	—
営業利益率	4.1%	3.9%		4.4%	4.2%	
当期純利益※	40	34.5	−5.5	45	47	+2
当期純利益率	2.0%	1.6%		2.1%	2.1%	
ROE	7.5%	6.3%	−1.2ppt	8.0%	8.0%	ROE8.0%を維持

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright ©2025 Gakken Holdings Co., Ltd.

中計進捗① 価格改定の実績

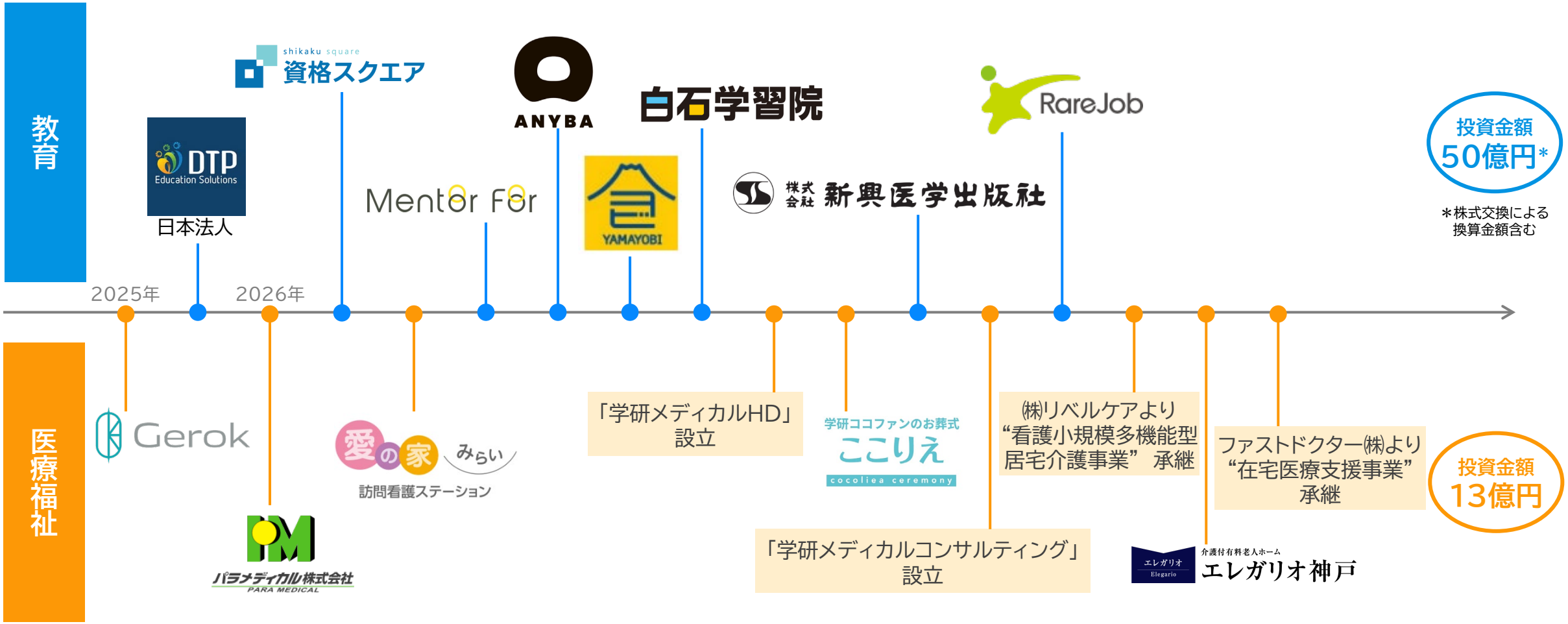
教室	月謝改定 **＋約10%** （2025年4月実施、幼児・小学生の基本コース等）	丁寧な説明と教育価値の向上に努め、料金見直し後も会員動向は概ね安定して推移
出版	2026/9期 平均価格 前期比 **新刊：＋約3%** **既刊：＋約5%**	既刊本の価格改定後も、販売部数は前年並みを維持し、堅調に推移
高齢者住宅	共益費・食費等の価格改定※1 **＋約4%** （2026年3月以降順次実施）	ご利用者・ご家族への丁寧な説明のもと料金を見直し、改定後も入居・利用状況は概ね安定して推移
認知症GH	グループホームの料金改定※2 **＋約2%** （26/9期改定分）	

※1 価格改定による増収額を価格改定対象の関連収入で除して算出
※2 料金改定実施事業所の平均料金に対する平均値上げ額の割合（月額）

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

Gakken

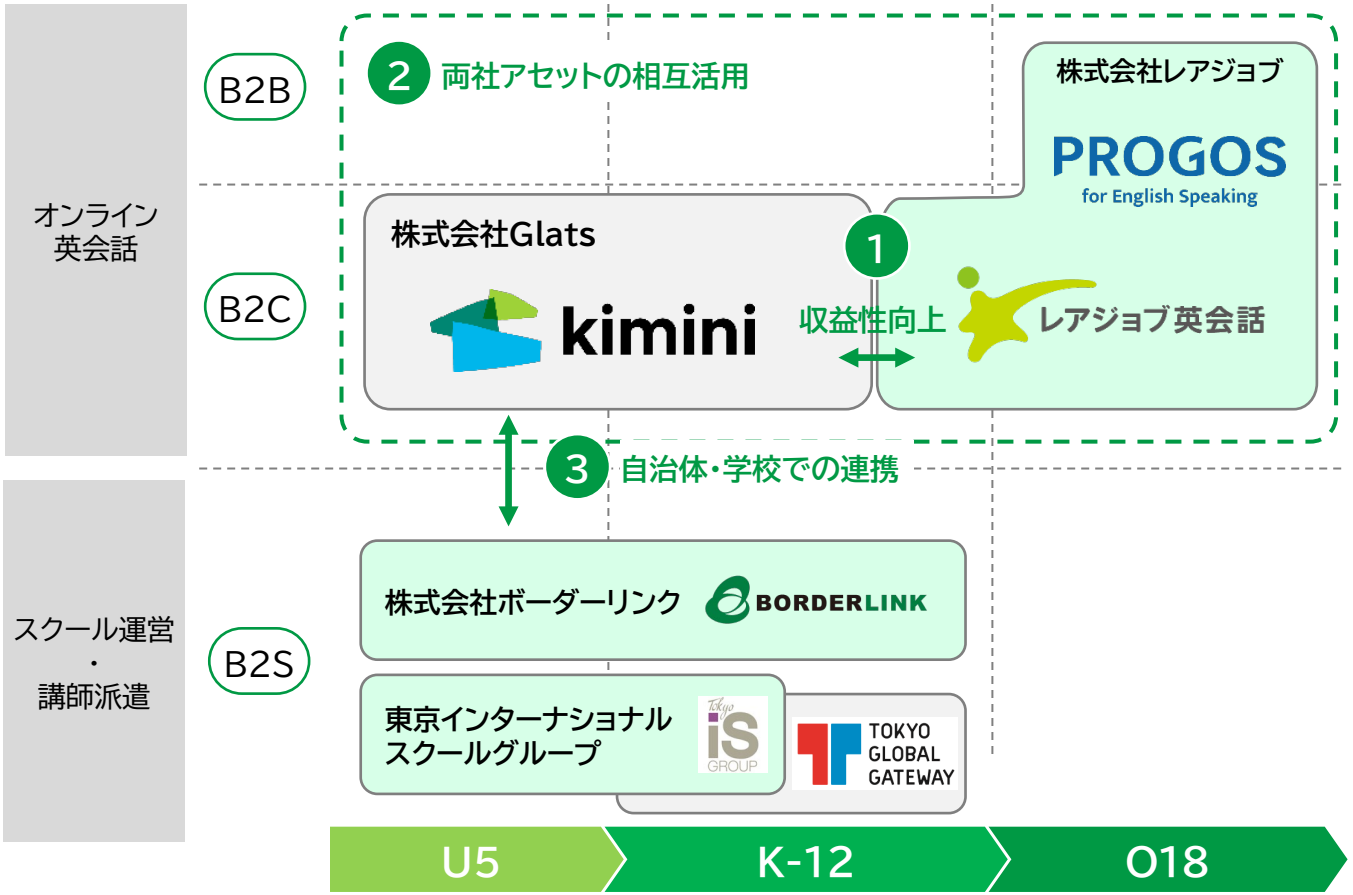
中計進捗② 戦略投資の進捗



Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

中計進捗② 戦略投資 「レアジョブ完全子会社化による語学事業の展望」

:レアジョブ社のグループインにより加わったグループ会社



グループインの狙いと今後の展望

① Glatsとのシナジーによる収益性の向上

- 費用構造の見直しによる利益率の改善
- Glatsとの連携強化・ノウハウ共有によるオペレーション効率化と品質向上（講師の採用・管理・育成、カスタマーサポート等）
- グループ規模を生かしたシステム基盤の最適化、AIを最大限活用した業務の高度化・生産性向上

② 両社アセットを活かした英会話事業の強化

- 同業ならではの教材コンテンツ・学習データ等を、B2C/B2Bの双方
で相互活用
- 外部環境の変化を踏まえ、AIを最大限活用する開発・提供体制を構築
- 顧客ニーズに応じた学習成果を提供するためのサービスを両社で検討

③ 自治体・学校領域における勝ち筋の強化

- ボーダーリンクの自治体・学校との接点とKiminiを組み合わせた提案力の強化
- 対面（ALT）とオンラインによる、授業内外の英語学習の一貫支援

レアジョブの収益力向上を起点に、語学事業の成長を加速

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

中計進捗② 戦略投資 「在宅医療支援事業の承継によるメディカル事業のサービス領域拡大」

メディカル事業のポジション

高付加価値な「ソフト領域」への拡張

	介護	医療/ヘルスケア
【ソフト】サービス	介護周辺事業 グリーンフード パラメディカル株式会社 Property Care Partners	メディカル事業のスコープ ソフト × 医療/ヘルスケア
【ハード】リアルインフラ	介護施設事業 学研 Cocofump MCS	訪問看護・調剤事業など Cocofump Nursing ライクス 愛の家 みらい 訪問看護ステーション

メディカル事業の拡大

ファストドクター㈱より“在宅医療支援事業”を承継し本格参入

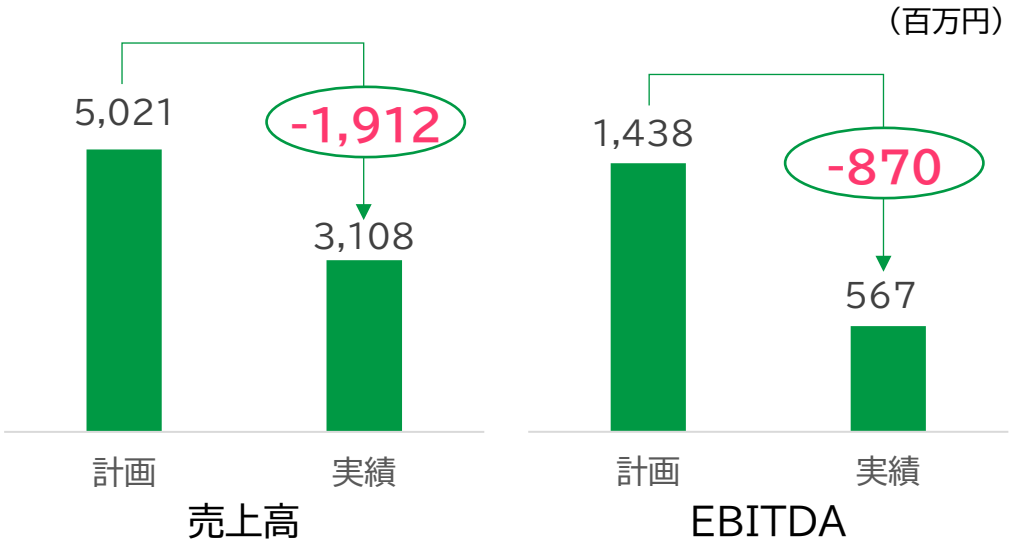
事業内容	医療機関向けBPOサービス • 夜間・休日の相談受付 • 往診業務の支援 • 診療体制の代行・運営支援
獲得基盤	•累計800超の利用実績 •運営ノウハウやシステム

【今後の展開】
✓ 在宅医療支援事業を起点に、医療機関向け支援メニューを拡充
✓ 医療従事者向け、患者・家族向けにサービスを拡張

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

中計進捗③ ベトナム事業※1の環境変化 現状と対策

2026/9期業績



全国統一教科書制度の導入（国営企業への一本化）により、
主力であった教科書事業は縮小し、売上・利益ともに減少した。

課題への対策

【商材の多角化】
新ニーズへの対応

- ✓「英語の第二言語化」政策に対応した CLIL※2（クリル）教育・教員研修
- ✓ 新制度の統一教科書に準拠・補完する ワークブック展開

【ターゲットの拡張】
教科書・公教育以外へ

- ✓ 制度に縛られないカリキュラム準拠型 デジタル教材
- ✓ 大学や私立校など新たな顧客層の開拓

【エリアの分散】
ベトナム国外の新市場開拓

- ✓ 自社開発のELT（英語）教材を周辺の 複数国へ展開推進

※1 DTP Education Solutions JSC社の事業を示す
※2 CLIL（Content and Language Integrated Learning：内容言語統合型学習）。教科内容の学習と言語習得を統合した教育手法。

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

ガバナンスの向上

2026年9月期 実績

「監査等委員会設置会社」へ移行

＜移行目的＞

- 意思決定の迅速化・経営の機動性向上
- 取締役会における監督機能の強化
- 経営の透明性向上

2027年9月期 計画

取締役会の独立性・多様性の向上を通じ、ガバナンスの実効性を強化を予定



Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

財務規律と株主還元

＜主要財務KPI＞

	2025/9期	2026/9期		2027/9期
	実績	計画	実績	計画
ROE	7.0%	7.5%	6.3%	8.0%
DOE※	2.1%	2.3%	2.3%	2.5%
年間配当金（1株あたり）	26円	29円	29円	33円
自己資本比率	36.9%	30%以上	39.0%	30%以上
D/Eレシオ	0.71倍	1倍以内	0.66倍	1倍以内

✓ 配当の安定性を重視し、従来の配当性向基準から2026/9期にDOEを導入
✓ ROEと組み合わせることで、「資本効率向上」と「安定的還元」を両立

※ DOEについて、2025/9期は導入前の換算値、2026/9期は年間配当29円に基づく算定値を記載。

事業収益性の向上

- オーガニックな事業の収益性を高めつつ、投資案件の改善を通してROE 8.0%以上を目指す
- 財務体質の改善とValue UP推進を通じ、適正な市場評価（PBR改善）を図る

財務健全性の維持

- 自己資本比率30%以上・D/Eレシオ1倍以内を堅持
- 金利上昇局面における機動的な債務圧縮を通じ、財務健全性と金利耐性を向上

安定的な株主還元

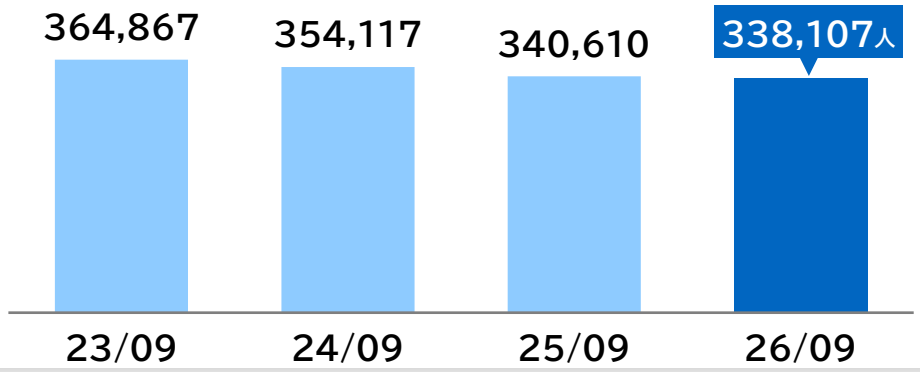
- 2026/9期（実績）：DOE 2.3%（年間配当29円、前期比+0.2ppt）を達成
- 2027/9期（計画）：DOE 2.5%（前期比+0.2ppt）、増配を予定

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

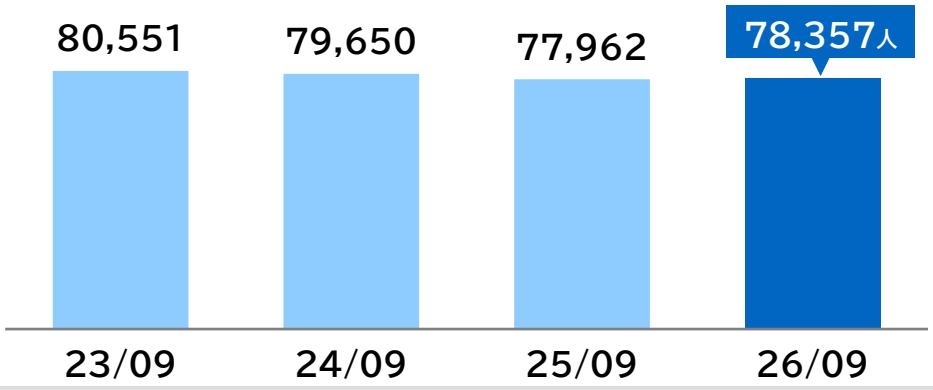
05 決算補足資料

教室・塾事業 会員数・教室数・生徒数

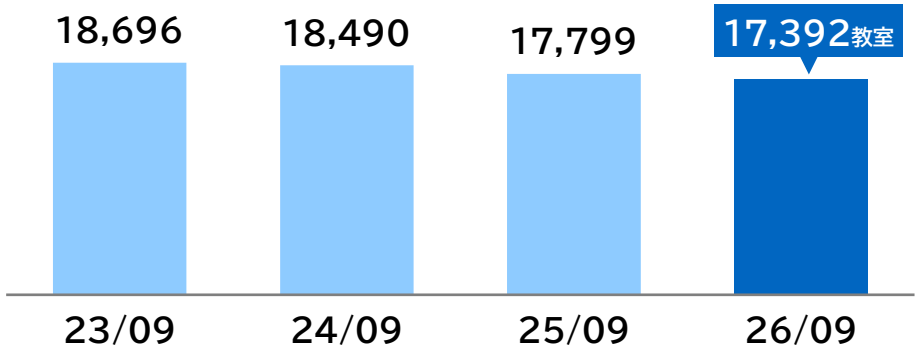
教室(会員数)



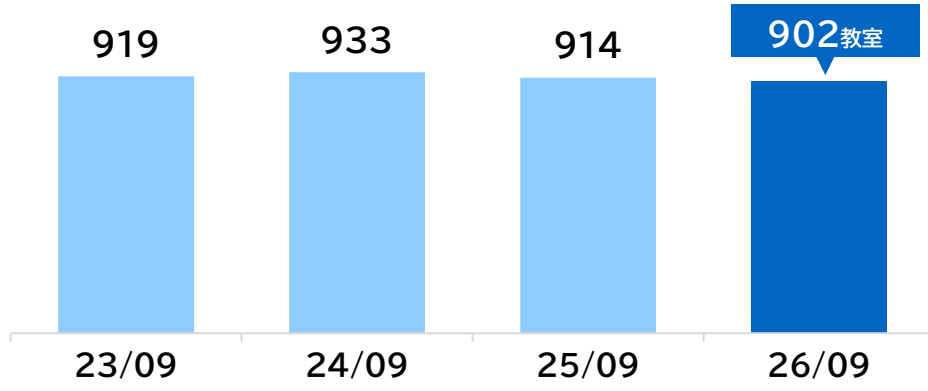
塾(生徒数)



教室(教室数)



塾(教室数)



※ 会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。

※ 2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン
※ 2023年7月に(株)市進ホールディングスを連結化

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

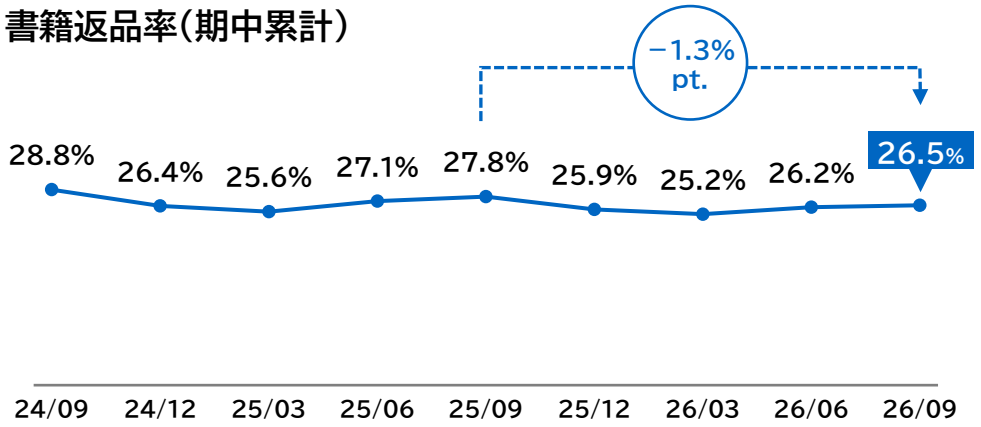
出版・サービス事業 書籍新刊点数/返品率※1

書籍新刊点数(期中累計)

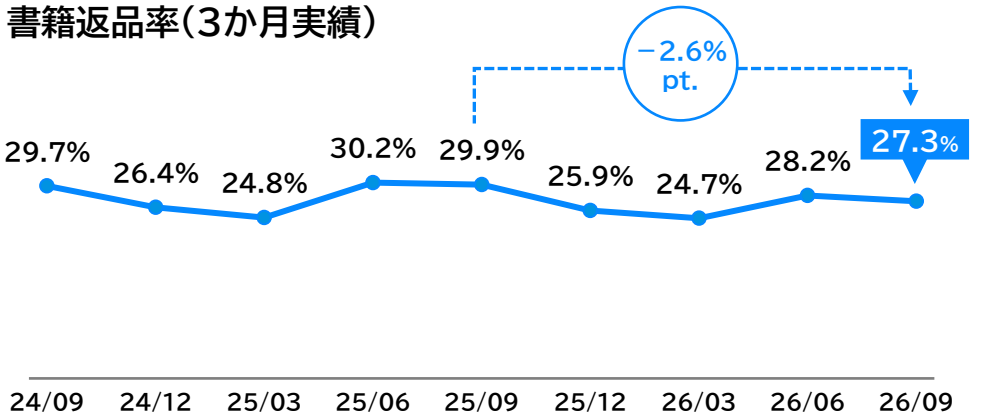
(単位:点)

	24/09	25/09	26/09
児童書	236	242	207
学習参考書	199	226	240
実用書	219	233	232
ムック	46	43	40
その他書籍	148	158	141
合計	848	902	860

書籍返品率(期中累計)



書籍返品率(3か月実績)

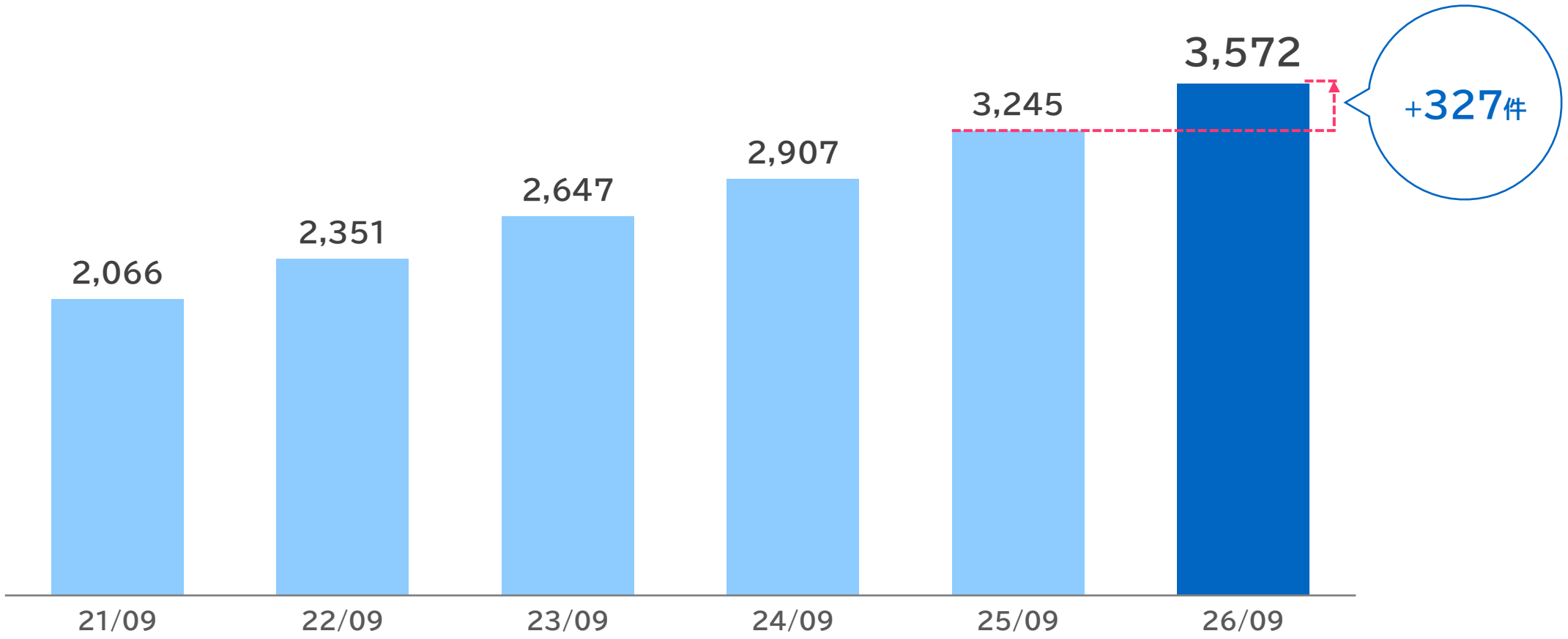


※1 書籍(雑誌は含まず)新刊点数及び書籍返品率は、(株)Gakken と(株)地球の歩き方の合算です。

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

コンテンツ・サービス事業 看護師eラーニング契約病院数

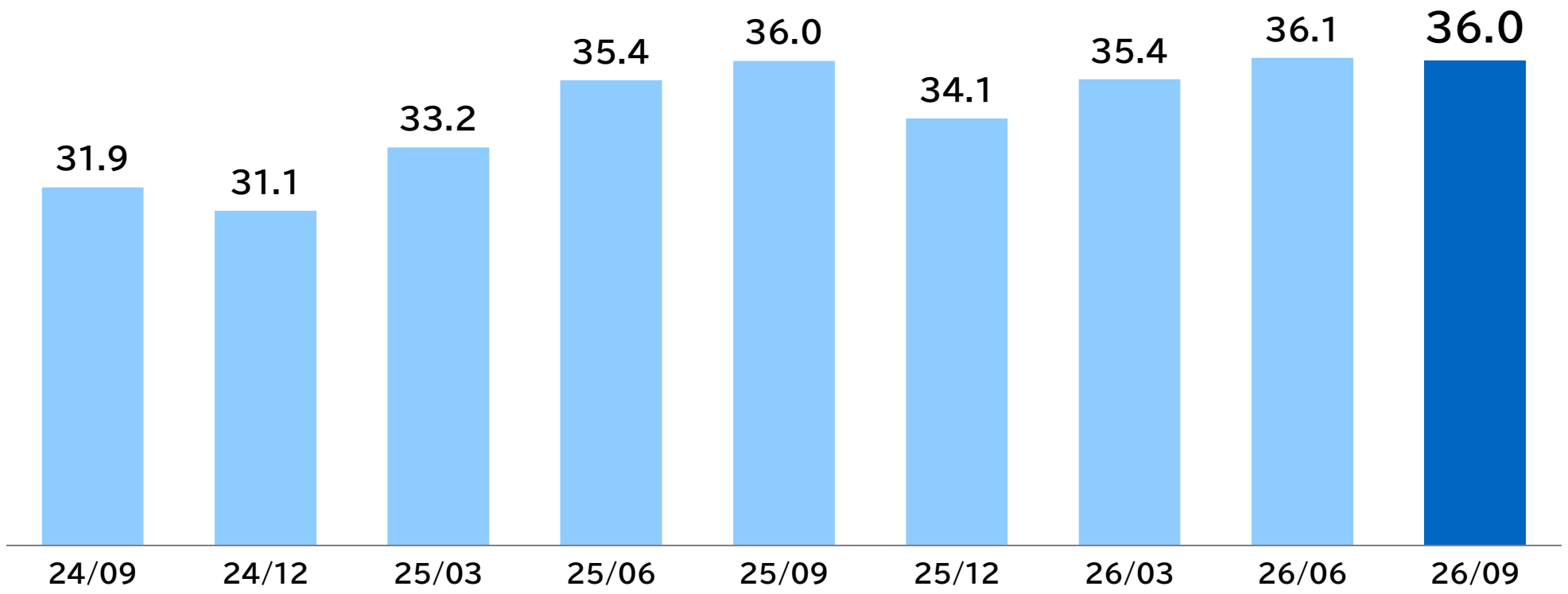
（単位：件）



Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

コンテンツ・サービス事業 オンライン英会話 Kimini 有料会員数

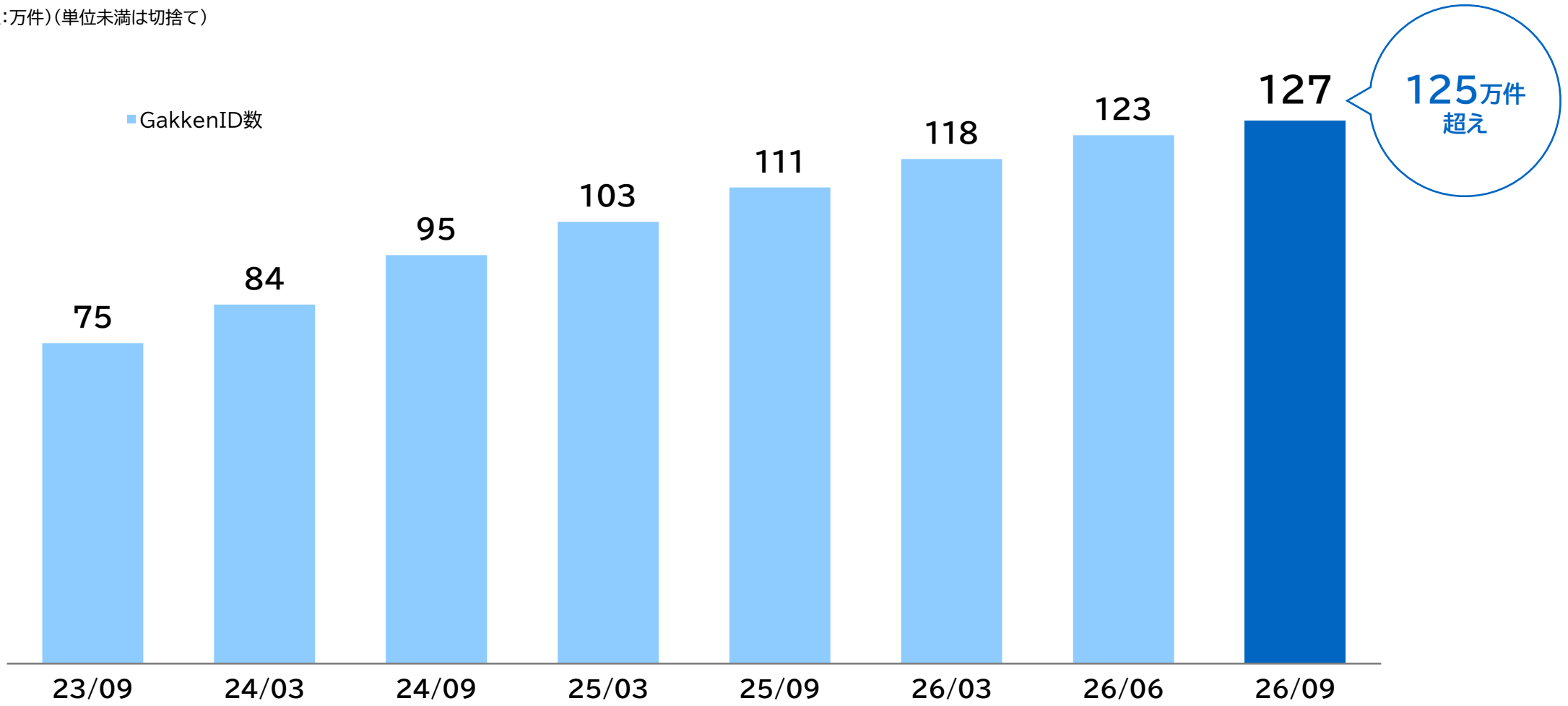
（単位：千名）



Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント Gakken ID数

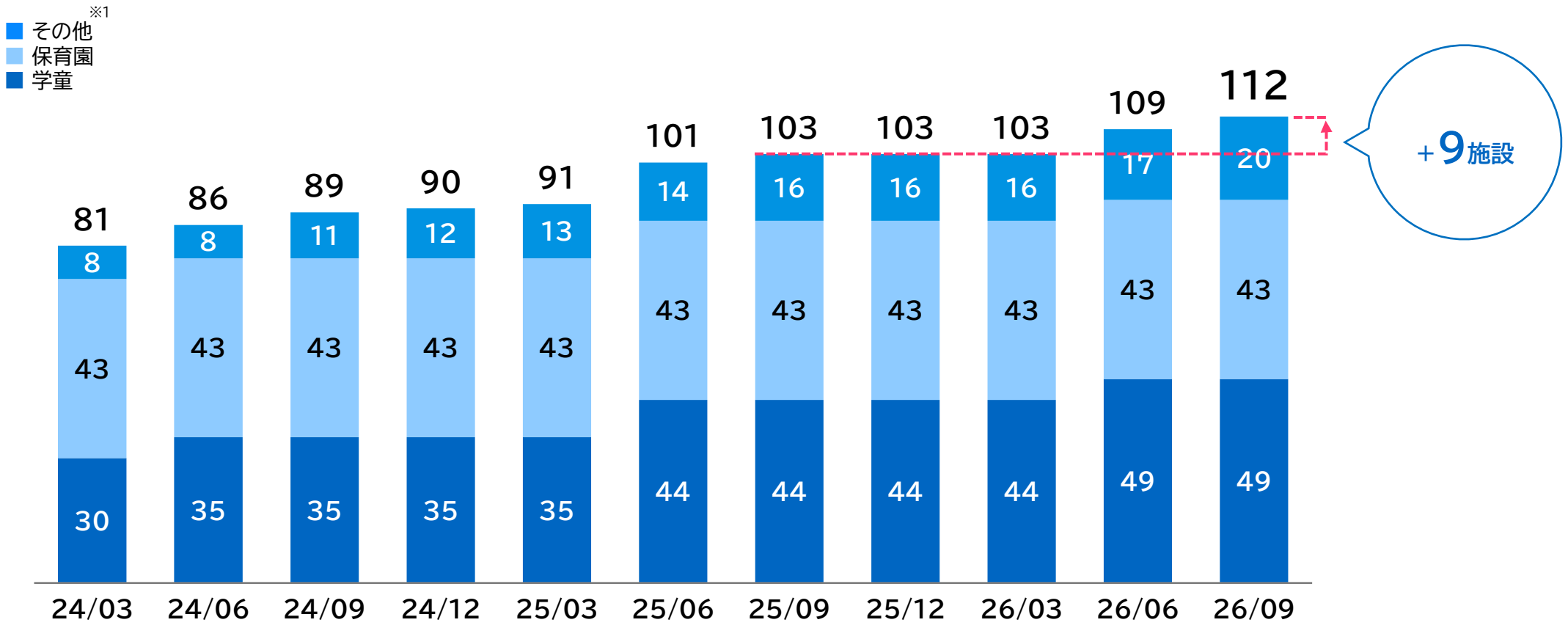
（単位：万件）（単位未満は切捨て）



Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

保育事業 子育て支援施設数等推移

（単位：施設数）

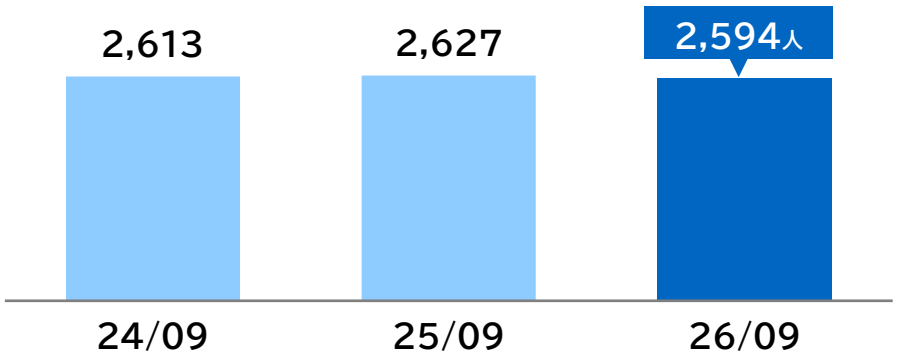


※1 記載の数値は児童発達支援施設、フリースクール、複合施設の合算で、新規開設数と閉鎖数の差し引きです。

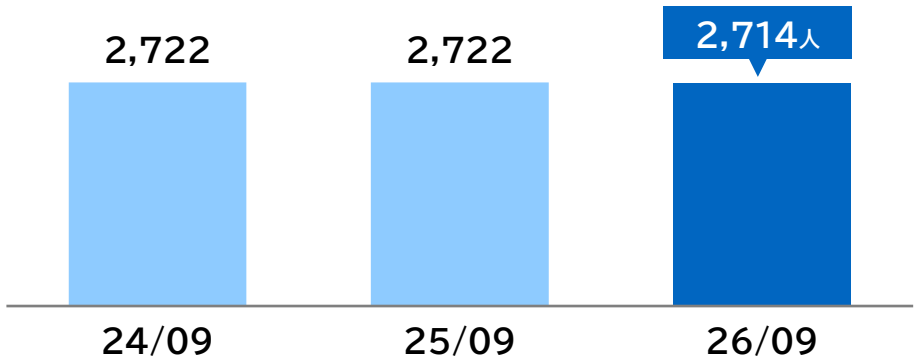
Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

保育事業 キャパシティと稼働状況

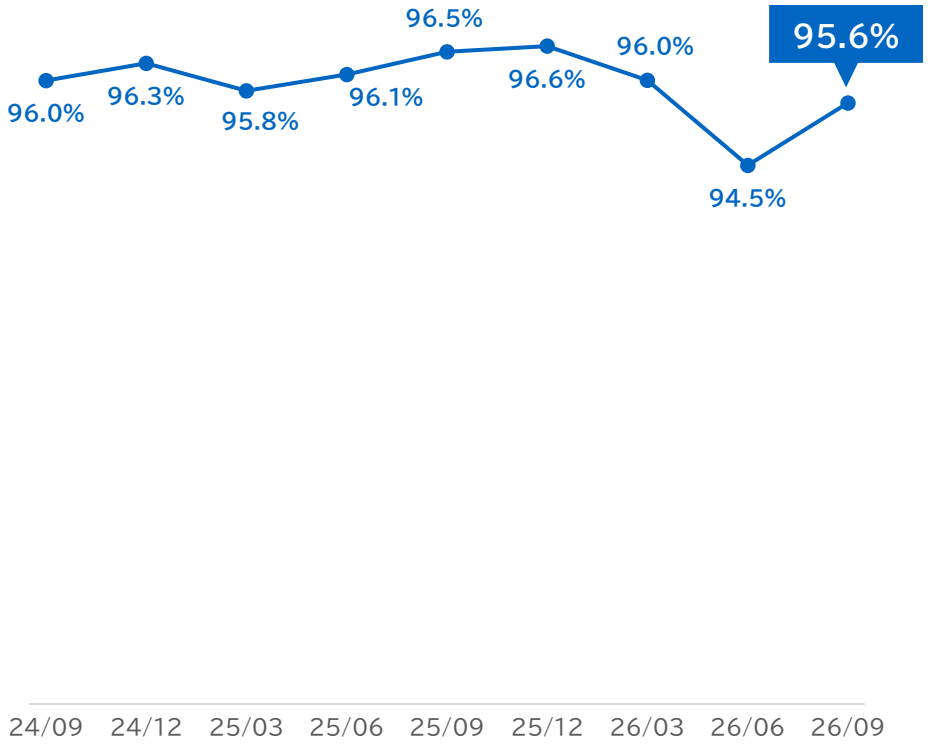
保育所　園児数(人)



保育所 定員数(人)※



充足率推移

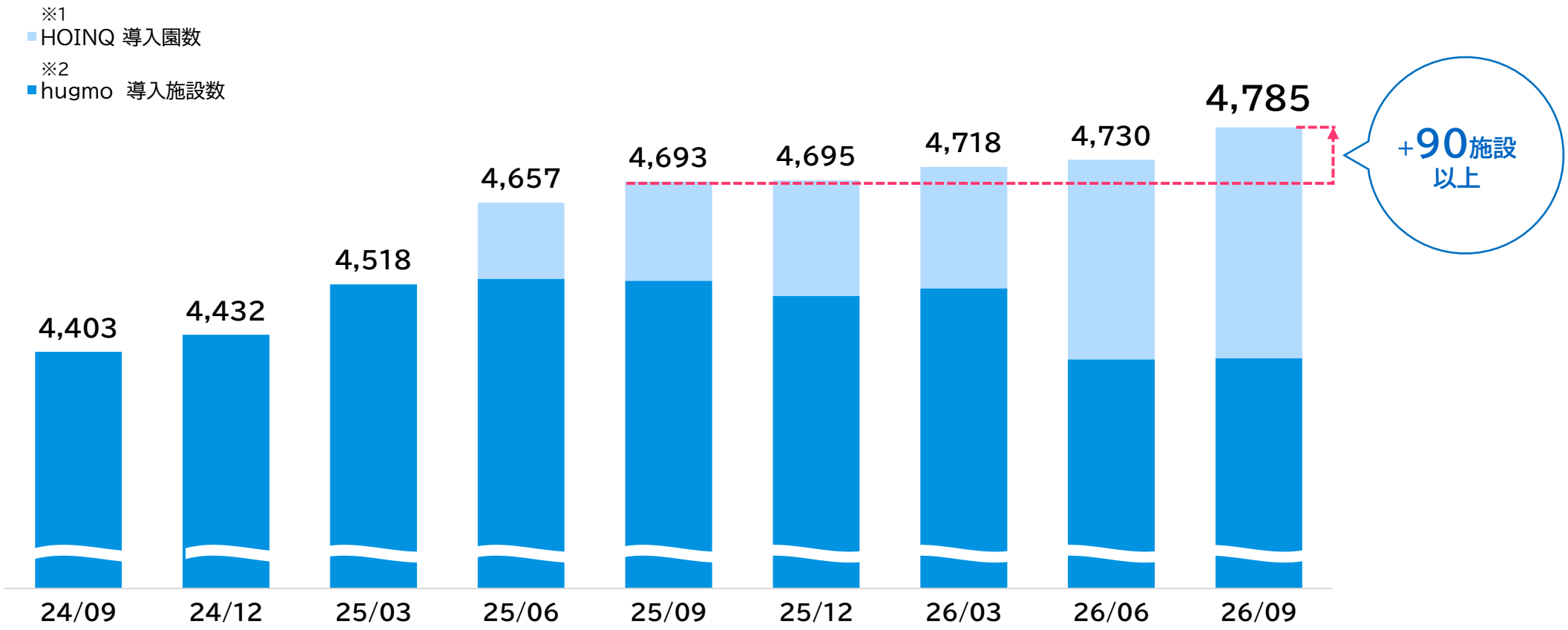


※ 定員数は、保育所のみです。

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

幼児事業 園向けICTサービス導入園数

（単位：園数）

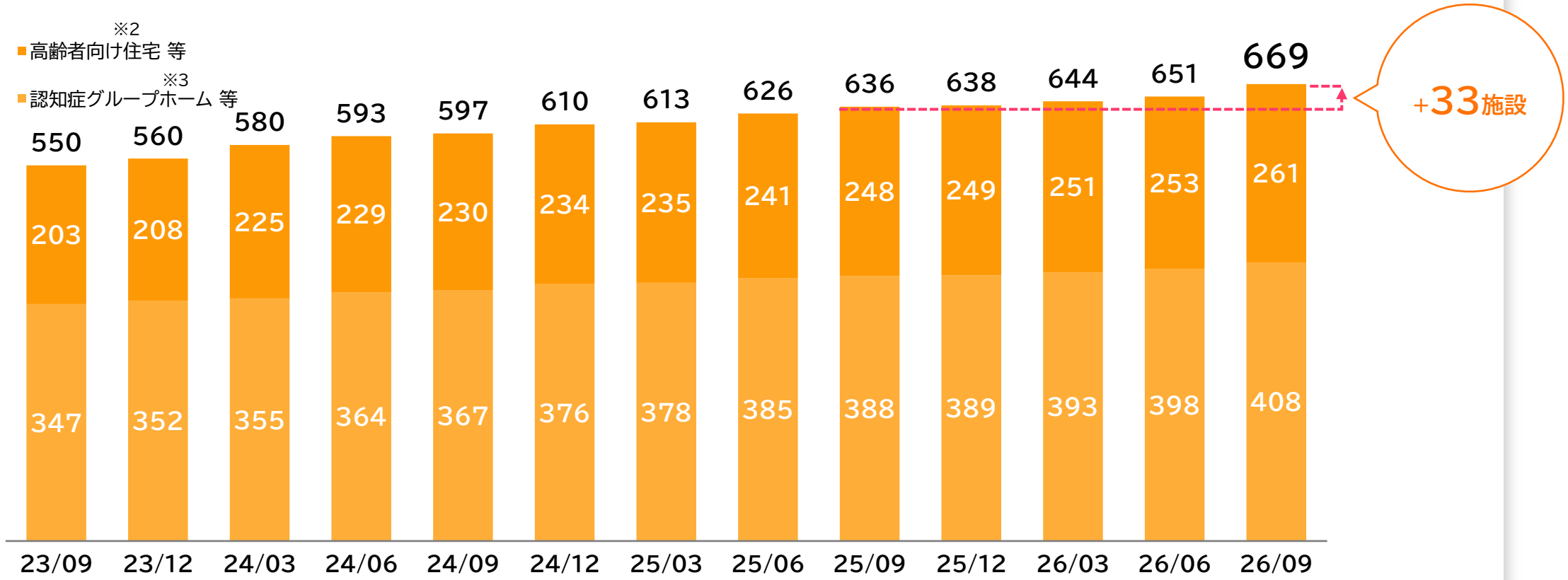


※1 HOINQ：幼稚園・保育園・こども園で働く職員を対象とした、1回15分で完結するオンライン研修サービス
※2 hugmo：保育園・幼稚園・こども園などの子育て支援施設と保護者をつなぎ、業務連絡や健康・安全管理をICTで効率化する保育支援クラウドサービス

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

医療福祉分野 拠点数推移※1

（単位：施設数）



※1 記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。海外拠点を含み、(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。
※2 サービス付き高齢者向け住宅の他に、訪問介護ステーションなど他区分拠点を含みます。
※3 認知症グループホームの他に、特定施設、小規模多機能型居宅介護拠点など他区分施設を含みます。
※ 過去の開示資料と一部数値に差異がありますが、案件進捗の精査に基づく最新数値を反映しています。

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

医療福祉分野 開設※計画と進捗

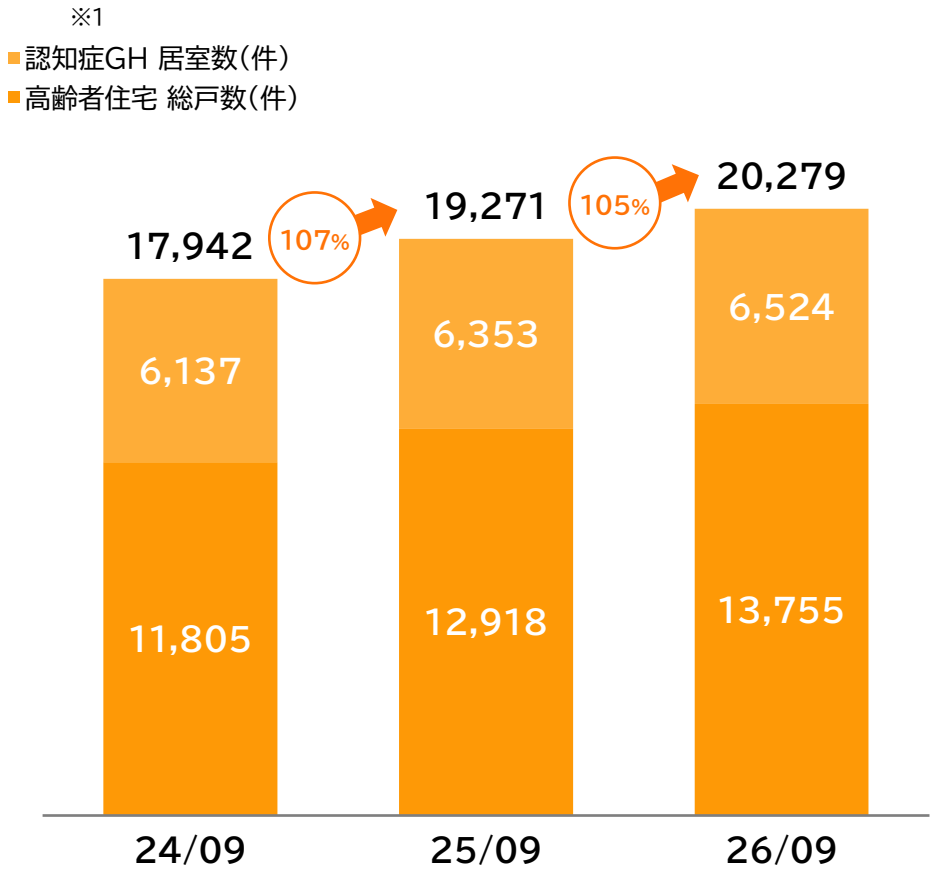
（単位：開設数）	2025/9	2026/9		
	開設実績	通期計画	通期実績	進捗率
高齢者住宅	18棟 （1,165戸）	26棟 （1,500戸）	13棟 （788戸）	棟数：50% （戸数：52%）
認知症グループホーム	12棟 （216居室数）	10棟 （180居室数）	9棟 （171居室数）	棟数：90% （居室数：95%）
合計	30棟	36棟	22棟	棟数：61.1%

※ 国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。（株）市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。
※ 現時点における中計の開設計画に変更はございません。

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

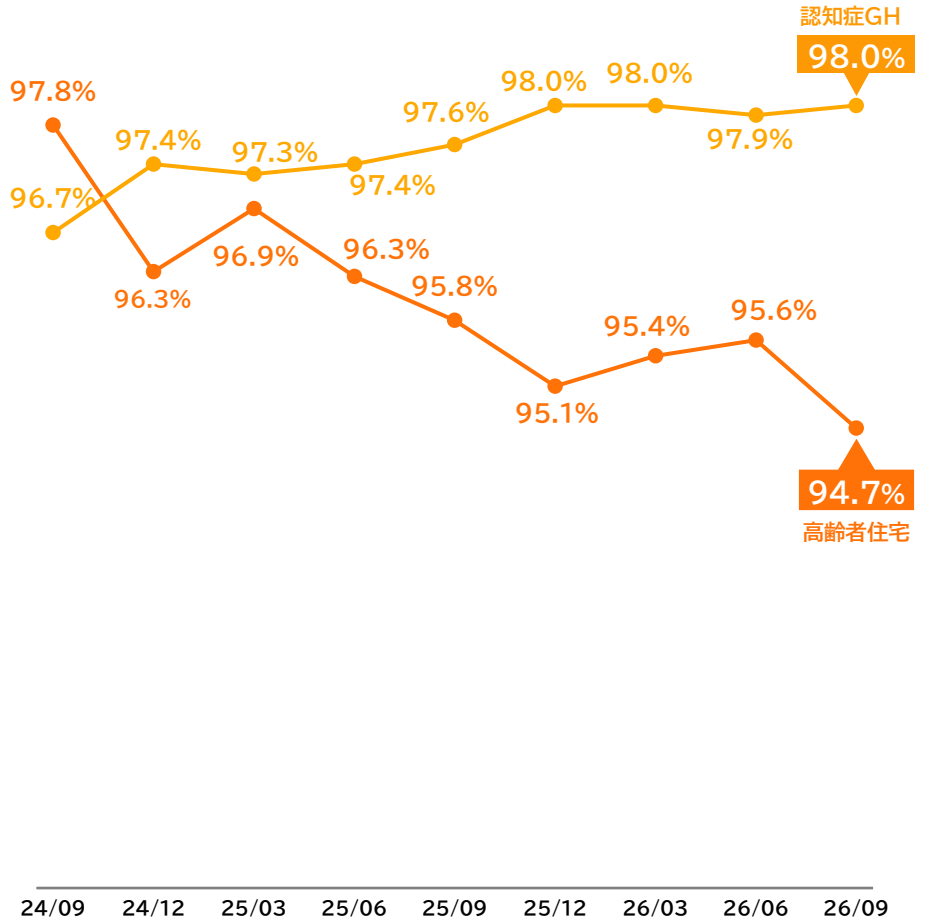
医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

総戸数・居室数推移



※1 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

入居率推移(新店含む)



※ 過去の開示資料と一部数値に差異がありますが、入居状況の精査に基づく最新数値を反映しています。

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

医療福祉分野 入居率

		24/03	24/09	25/03	25/09	25/12	26/03	26/06	26/09
高齢者住宅	総戸数	11,512	11,805	12,146	12,918	13,036	13,134	13,292	**13,755**
	入居数	11,210	11,541	11,775	12,376	12,401	12,535	12,703	**13,204**
	入居率	97.4%	97.8%	96.9%	95.8%	95.1%	95.4%	95.6%	**94.7%**
認知症グループホーム	居室数※	5,966	6,137	6,245	6,353	6,371	6,425	6,461	**6,524**
	入居率	96.7%	96.7%	97.3%	97.6%	98.0%	98.0%	97.9%	**98.0%**

※ 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。
※ 過去の開示資料と一部数値に差異がありますが、入居状況の精査に基づく最新数値を反映しています。

Copyright ©2026 Gakken Holdings Co., Ltd.

今日、いくつ挑戦した？

Gakken

本資料には事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。
したがって、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おきください。

UD FONT 本文部分には見やすい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています